

環境

Environmental Newsletter

ニュースレター

No.21

発行日：2015.3.26

Contents

グッドライフアワードで 「あきた森の宅配便」が環境大臣賞 最優秀賞を獲得しました!!!	2
環境マネジメントシステムについて	3
あきた環境優良事業所認定制度 更新事業所の紹介	3
カーボン・オフセットをご存じですか？	4
あきたエコマイスターを紹介します	5
こどもエコクラブ	6
環境白書を公表しました	7
低炭素杯2015	7
Information	8

グッドライフアワードで 「あきた森の宅配便」が 環境大臣賞最優秀賞を獲得しました!!!

グッドライフアワードは、環境にやさしい社会の実現をめざし、日本各地で実践されている「環境と社会により暮らし」に関わる活動や取り組みを募集して紹介、表彰し、活動や社会を活性化するための情報交換などを支援するプロジェクトです。2回目となる今年も、情報を発信することで、日本で暮らすひとり一人がライフスタイルを見直すきっかけとなることを目的として開催されました。

「あきた森の宅配便」は顧客の注文に応じて山菜採りを代行して行う小坂町の会社です。

同社は2月に環境大臣賞（最優秀賞候補）に決まり、3月14日に東京都内で最高賞の最優秀賞を受賞しました。

今回、「あきた森の宅配便」社長の栗山奈津子さんにお話をお聞きました。

「秋田は古くは出羽の国の時代から、四季折々に特色ある味覚を堪能できる食の宝庫として「食の国」と呼ばれ、春夏秋冬の自然の恵みから様々なおすそ分けをもらいながら、ともに共存してきました。

長い冬が終わり春になると一斉に山の生命が芽吹き始めます。私たちは緑に萌える山々を眺めながら、春の訪れを喜び、感謝し、その森の恵みをいただくことで自然からの力をもらい、一年のはじまりとしてきました。自然からのこの生命（いのち）のおすそ分けを広く全国にお届けしたい、との思いから「あきた森の宅配便」はスタートしました。

活動の始まりは平成18年ですから、9年目ということになります。その年の12月には秋田県独創的創業支援事業の認定を受け、地元の後押しと協力もあり、9年間続けることができました。山菜を採りにいってくれる「山の名人」たちからたくさんの協力を得て、天然山菜採り代行サービスを行っております。現在では支えてくれる山の名人も23名になりました。春夏秋冬、自然とともに歩みながら、四季折々の多彩な味覚、そこに携わる山の名人、生産者と全国の皆さんの橋渡しにこれからも全力で取り組みたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。」とのことでした。



代表 栗山奈津子さん



ぜったいに、全部採ってはダメ。
山からのおすそ分けだから。



山の名人 川口さん77歳

本県からの環境大臣表彰・最優秀賞受賞は初めてです。栗山さん、おめでとうございます!!!

詳しくは

グッドライフアワード

http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/index.html

または、「グッドライフアワード」で検索してみてください。

あきた森の宅配便トップページは <http://akita-mori.com/>



山菜取りのようす
(川口さんの妹で秋本さん)



皆さんのよく知っている3Rですが、3R活動とは（Reduce（リデュース））、（ ）、（ ）に取組むことでごみを少なくし、処分による環境への悪影響を極力減らし、限りある資源を有効に使う社会（＝循環型社会）を作ろうとする活動です。

上の3Rについてカッコに入る語句を、次から選んでください。

1. Refuse（リフューズ） 2. Reuse（リユース） 3. Repair（リペアー） 4. Recycle（リサイクル）

環境マネジメントシステムISO14001の規格改定について

はじめに、ISOとは、国際標準化機構、International Organization for Standardizationからきていますが、言語によって異なる略称となるため、ギリシャ語のイソス (ISOS) (均等、均質) を引用し、言語や地域によらない短縮名としてISOを選んだという経緯があります。

ISO14001規格は1996年の発行から、1回目の改定が2004年に行われ、2回目の今回の改定は11年ぶりの改定となります。2015年5～6月頃にISO14001-2015として発行予定です。環境マネジメントシステム (EMS) のほかに品質マネジメントシステム (QMS)、情報マネジメントシステム (ISMS) 等がありますが、それぞれの規格で定められた要求事項や用語の統一性がなく、複数のマネジメント規格を運用するには複雑となっていました。今回の改定では、各種のマネジメントシステムで設定された章の構造を1章から10章に統一し、ついでに用語の統一も行ったことにより、複数のマネジメント規格の導入、運用、システム構築が軽減され、活動の効率化ができ、環境の保護に至っては生物多様性への拡大、ライフサイクル全体での管理の拡大、IT技術革新を反映した情報管理など、より事業活動のプロセスへの浸透が期待されます。

また、環境マネジメントシステム (EMS) の規格改定のあと、品質マネジメントシステム (QMS) 規格も改訂中ですから、統合も含めた検討もよりし易くなると期待できます。

あきた環境優良事業所認定制度 更新事業所の紹介

step1

一般財団法人 秋田県総合公社 環境保全事務所

〒019-2413 大仙市協和上淀川字雨池沢45番地
<http://www.akisouko.com/kankyô/>

事業概要と理念

秋田県内の事業所から排出される産業廃棄物を適正・安全に処理し、県民の皆様の生活環境と自然環境の保全に努めます。

あきた環境優良事業所の更新に当たり、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素 CO_2 排出量の削減のため、ゴミの減量化、リサイクル等、環境に配慮した身近な目標を設定し、社員一人一人が目標達成に取り組んでいます。

産業廃棄物処理施設として、施設の常時見学等情報の発信・提供に努め、環境保全活動に一層の努力をしております。

取組目標

1. 省エネルギーの推進

- ・使用していない電気機器の電源を切り、節電に努めます
- ・冷暖房の温度管理を適切に行い、節電に努めます

2. ごみの減量化・リサイクル・適正処理

- ・ごみの排出量を記録し、減量に努めます
- ・詰め替え可能な製品を購入・使用し、ゴミの減量に努めます

3. 環境に配慮した製品の使用

- ・エコマーク等の環境に配慮した製品を優先的に使用します

4. 環境保全活動の推進

- ・周辺地域のクリーンナップを計画的に実施します

step1

三和精鋼株式会社

〒018-0301 秋田県にかほ市飛字餅田13番1
<http://www.sanwa-pc.jp/>

事業概要と理念

鉄鋼・非鉄金属を主力とした材料の切断・切削・研磨加工販売一筋に歩み続けてきました。

お客様から、「信頼される企業を」をモットーにコスト・品質改善に努め、変化する社会に対応して参ります。

取組目標

「環境にやさしく」を合言葉に

1. 省エネルギーの推進

- ・昼休み時間の消灯を徹底実施します
- ・休憩時間も節電に努めます

2. ごみの減量化・リサイクル・適正処理

- ・ゴミの分別を実施します
- ・ゴミを作らない・出さないを主眼に、さらに再利用を実施、継続します

3. 環境に配慮した製品の使用

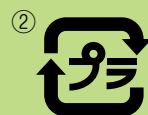
- ・エコマーク等の環境に配慮した製品を優先的に使用します

4. 環境保全活動の推進

- ・周辺地域のクリーンナップを計画的に実施します



次のマークのうち、「指定ペットボトル（品質の良い再生品を作るため分別回収するもの）」として回収の対象となるのはどれでしょう？



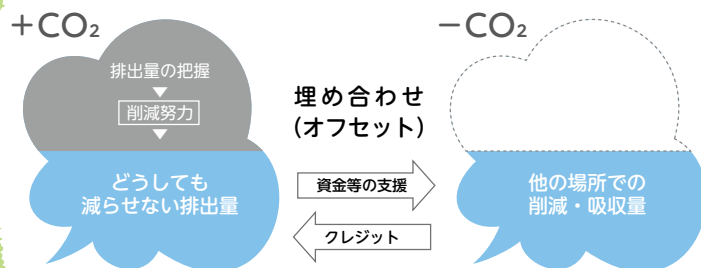
カーボン・オフセットを ご存じですか？

IPCC第5次評価報告書では「気候システムの温暖化には疑う余地はない」、「温暖化の要因は、人間の影響が極めて高い」とされ、これまで以上に温室効果ガスの削減が必要となっています。

そこで、今回はカーボン・オフセットについてご紹介します。

1 カーボン・オフセットの概念

カーボン・オフセットとは、市民、企業、NPOやNGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（「クレジット」といいます。）を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることをいいます。



カーボン・オフセットの概念図（出典：環境省）

2 カーボン・オフセットの対象は？

カーボン・オフセットの対象となる活動は様々です。たとえば、私たちの日常生活における電気の使用や、企業による商品の製造・流通・販売、自治体・政府による会議の開催、企業活動そのものなど、温室効果ガスを排出するあらゆる活動がカーボン・オフセットの取組の対象となります。

3 カーボン・オフセットの取組に期待されること！

カーボン・オフセットの取組は、社会の構成員がそれぞれの立場、役割を持って参加することが可能な地球温暖化対策です。商品の購入やイベントへの参加等を通じて、自らの意思や選択で積極的に地球温暖化対策に参加する機会ができ、さらに、今まで地球温暖化に関心のなかった人たちに対しても、地球温暖化について考えるきっかけをつくることが期待されます。

カーボン・オフセットの取組は、国内・国外で実施される温室効果ガスの排出削減・吸収プロジェクトへの投資につながり、これらのプロジェクトの実施に資金面で貢献する機会を提供するものです。特に途上国においてのプロジェクトは公害問題や自然資源の劣化等の改善といった副次的な効果も期待され、また国内で創出され

た吸収・削減クレジットの活用は、国内で資金が還流し、国内投資の促進や雇用の確保等、それらを通じた地域活性化にも貢献することができるものです。

カーボン・オフセットの取組が社会に浸透し、個人、企業、地域社会による地球温暖化対策の輪が更に広がっていくことが期待されます。

カーボン・オフセット商品やサービスを通じて企業に支払った料金は、クレジット創出側へ還元され、より多くの温室効果ガス削減・吸収を促すことへつながる。



カーボン・オフセットを通じた資金の流れ（出典：環境省）



「掃除」について、一般的に不適切なものはどれでしょう？

1. エアコンや掃除機などのフィルターは、こまめに掃除をすると、冷暖房効率や吸引能力が低下せず、省エネ効果も期待できる。
2. 重曹や酢などを洗剤として使うことができる。
3. 洗剤の使用量を増やせばどんな汚れも落とすことができる。
4. 茶がらを畳や玄関にまいてほうきで掃けば、茶がらに汚れなどがつき、埃もたたない。

あきたエコマイスターを紹介します



活動紹介

寺田 勇吉さん

温室効果ガス二酸化炭素(CO₂)の排出量の少ない原子力発電は、有効な発電と考えるが、「安心、安全」と言われてきた原子力発電は、東日本大震災で「安心、安全」ではなくなり、さらに放射能汚染は拡大しています。目に見えない放射能の汚染、廃棄物の処理等問題解決には想像もつかない時間がかかりそうです。

原子力発電の代替エネルギーとして、化石燃料を使用した火力発電が担っていますが、化石燃料を使用することにより、温暖化効果ガスの排出量が増えている状況を考えると、太陽光発電、風力発電等環境にやさしいエネルギーと言われるものがありますが、太陽光発電、風力発電は気象に左右されます。

気象にも左右されず、安定して供給できる、もっと環境にやさしいエネルギー「地熱」が私が住む湯沢にあります。原子力発電、火力発電への依存を、地熱発電で減らすことができると考え、地熱開発促進に協力して



地熱発電所見学会風景

いこうと活動しています。

また、日常生活でも、できることからと考え、「こまめに節電」や「エコドライブ」等、省エネを実践しています。

今後の抱負

温暖化はどんどん進んでいます。温暖化を常に意識し、節電やエコドライブを今後も実践し、周囲にも浸透させていこうと考えています。

また、地域エネルギーにも関心を持っていただくために、情報発信等し活動していきたいと考えています。

取材者ひとこと

寺田さんは地球温暖化防止に高い意識をお持ちです。お住まいの湯沢市には環境に優しいとされる地熱発電所があり、地熱開発の促進に協力していこうと活動されています。その姿に感銘を受けました。



湯沢市在住の
寺田勇吉さん

活動紹介

吉岡 伸子さん

たのしみながら「エコ家計簿」

秋田県の「エコ家計簿」は2005年発行ですから、10年になりました。あの頃、地球を視野に入れて、極めて小さい家庭のCO₂の数値を計算し、確認して、あるいは比較しながら、CO₂削減の努力をお願いすることは、至難の業と思ったものでした。1997年に京都議定書の発効、2007年IPCC第4次評価報告書では、地球温暖化は「人為的な温室効果ガスによる経済活動にその原因がある」、重ねてCO₂は大気中に放出されると、約20%が数千年間も大気中に留まるとのことである。あるいは、最近の50年間の観察によれば、温暖化の原因のほとんどは「人間活動」によるとも。

2005年～2007年の町民文化祭の折に「環境展」のブースを頂いて、町民の方々に、長くもなく、かといって短いしゃべりだと伝わらないので、満面の笑顔で言葉を選び、言葉をかけて、いぶかしさが和らいだところを見計らって家庭内の光熱5項目(電気、ガス、水道、灯油、ガソリン)の検針票と領収書、そして可燃ごみ袋の数をとりあえず保管してくださいと始まるのです。温暖化のメカニズム、CO₂削減の必要性まで話が及ぶには、しっかり足を留めてもらわなければならなかったけど、氏名と住所を明かしてくださる方々を大切に思い、必死になっていました。地球温暖化防止活動推進員さんと一緒に、3日間の期間中に200冊ほどを配布できたことを、今、思い出しています。

温暖化防止啓発活動の難儀さはその後も長く続き、現在も継続しています。「気象変動に関する政府間パネル」は特別としても、環境に関する用語は、この10年余りで市民権を得ていることを感じています。2013年に始まった「みんなでつけよう!環境家計簿」の3年目が始まるようです。リピーターとして協力いただいている方々は、ご自分のデータに厚みが増し、比較ができて楽し

くなることです。肩の力を抜いて、家計簿の数値と遊ぶ気持ちで参加していただけるよう、伝えられたらいいと思っています。

温暖化の防止啓発活動は無論のこと、身の回りの環境活動にも積極的に参加して、次の世代に受け継いでいけたらいいと思っています。

今後の抱負

もちろん、気象変動には常に気を付け観察し、温暖化防止活動も継続しますが、省エネの効果を、あきたエコマイスターネットワークの一員として、少しずつ、着実に行動し、実感していただけるよう伝え、頑張りたいと思っています。

取材者ひとこと

エコマイスターに登録する前の漠然とした環境保全に対する思いと、エコマイスター登録後の各取組について楽しそうにお話くださいました。

活動を継続して取り組む努力と力強さにとても頼もしさを感じました。



由利本荘市在住の
吉岡 伸子さん



山菜採りではなく、ゴミ拾いです。一個ゴミがあると、どんどん増えていきます。ゴミがないと、ゴミも集まってくれません。ゴミが出ないくらい省エネ、省資源を浸透させたいですネ。

こどもエコクラブ

団体名 あきたみどりフレンド（秋田市）

秋田市太平のまんだらめで行われた、「こどもエコクラブ交流会 in まんだらめ」に参加し、多くの成果を挙げることが出来ました。子供同士の連帯感、思いやりの中で生き物や植物、花など自然との関わりを理解し、自分たちが生きている仕組みを学ぶことができました。風と樹木のハーモニー、梢の鳥の鳴き声など、ふだん学校で

感じる事がめったにない体験をし、参加クラブの仲間た



水分補給も大切です



目隠しすると自然をより深く感じれます

ちと気軽に会話することが出来ました。エコ活動の学びの中で触れ合えるうれしさ、楽しさを共有し、全員の「ありがとう」の元気な声で終了出来たことが最高の収穫でした。

子供たちの声

- ネイチャーゲームを体験できた事やリース作りではいろんな花や木の実で作る楽しさを感じた。参加できない生徒ももっと自然に触れてほしい。
- ネイチャーゲームで目隠しでみんなと助け合い風や鳥の鳴き声など自然の音を聴いた。
- 森の探検でかごの中に栗やくるみを入れたリスのえさや、泥水を溶かしてきれいな水の実験がおもしろかった。
- 目隠し体験がよかったけど色々学べて良かったです。
- 自然観察で木や草の名前、葉のつき方などを知ることが出来た。6年生最後だけど、ほかの人たちにも知ってほしい。

団体名 わくわくエコ工房（秋田市）

私たちは、子ども4人大人4人の今年、できたてホヤホヤのこどもエコクラブです。家族クラブですから、いつでも団結力は抜群です。

ふだんの活動は近所の草生津川の散歩道の散歩を兼ねての月一回のペースでゴミ拾い、まだまだのんびりエコ活動です。近くにショッピングモールがあり、ビニール袋が川の土手に、休憩用ベンチの周りにタバコの吸殻や空き缶など、どうしてこんなところに落ちているの？と小学1年の孫からの素朴な質問に戸惑いながらも答えることでモラルということについて実践をさせていただいております。

イベントでは生涯学習センターで開かれました年1回のあきたエコマイスター県央協議会主催の「こどもエコ学習」に6人で参加できました。

子供たちが、真剣な眼差しで地球温暖化や森林の役割の話聞く事ができたことや森の木の実、流木などを

使った工作に夢中になったことなど、あっという間の楽しいひと時を通してみんなで、環境に少しでも関心を持つことができた体験でした。

これからも、ゆっくりでも様々な体験を通して環境と人の関わりなどを勉強していきたいと思います。



流木が宝物になったね



森林には、大切な役割があるのです

こどもエコクラブのこの1年の活動をまとめた「こどもエコクラブ活動報告集2014」が発行されました。

秋田県公式ウェブサイト美の国あきたネットに掲載しましたのでご覧ください。

◆美の国HP 美の国あきたホーム>組織別案内>生活環境部>環境管理課>こどもエコクラブ>こどもエコクラブ情報



平成
26年版

環境白書を 公表しました

県では、「秋田県環境基本条例」第11条の規定に基づき、毎年度の秋田県の環境の状況と環境保全に関して行った施策について「環境白書」として公表しており、平成26年12月に、平成25年度における状況と取組を中心にまとめた「平成26年版環境白書」を発行しました。多くの方々にご覧いただき、秋田の自然のすばらしさや環境への関心、理解を深めていただきたいと思います。

「平成26年版環境白書」は、次の2部からなる「本編」と「資料編」の2編での構成となっており、これをまとめた「概要版」も発行しています。

○第1部 総説（環境行政の課題と動向、本県の環境施策の概要）

○第2部 環境の現況及び環境保全施策に関して講じた施策

県のホームページからダウンロードもできますので、ご利用ください。

問い合わせ先

秋田県生活環境部環境管理課 (TEL018-860-1571)

URL <http://www.pref.akita.lg.jp/kankyoho/>



低炭素杯2015が 平成27年2月13日(金)・14日(土)の両日、 東京ビッグサイトで開催されました。

低炭素杯って？

「低炭素杯」は、次世代に向けた低炭素社会の構築を目指し、民間の方々のご支援・ご協力を得て平成22年度より開催されてきました。北海道から沖縄まで、学校・非営利団体・企業・自治体などの多様な主体が、地域性や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の取組や事業を展開しています。そうした活動を全国から集め、発表や団体同士の交流を通じて、取組のノウハウや情報を共有してつながりを深め、地域のベストプラクティス（結果を得るのに最も効率のよい技法、手法、プロセス、活動）を全国に展開するしくみと発表の場が「低炭素杯」です。5回目を迎える「低炭素杯2015」では、地域活動、学生活動、企業活動に、新たに「地域エネルギー」部門を創設し、全国より各部門合わせ、1730団体の登録があり開催されました。

今年のグランプリは地域エネルギー部門から、下川町（北海道）が環境大臣賞を受賞しました。

活動の名称は少し長いですが、『地域資源“森林”を活用したエネルギー自給型小規模自治体モデルの構築 ～誰もが暮らしたいまち、誰もが活力あるまち～』です。

その、活動の目的は、都市部への人口流出による地方の少子高齢化、一次産業の衰退、地域資源の荒廃が加速化したことによる小規模自治体の経済低迷や、将来の不安を解決しようとする活動です。地域に豊富に存在する森林資源を最大限活用し、林業・林産業の活性化とエネルギーの自給を行い、課題を一体的に解決する、安全安心で持続可能な地域社会作りを進めてきました。現在、公共施設で使用する、熱エネルギー量の約40%を供給するなど、低炭素社会の構築と充実に向けて活動しています。

環境大臣賞「グランプリ」のほか、各部門賞（金賞）、共催・協賛・協力企業／団体賞、オーディエンス賞、企画・審査委員特別賞があり、表彰式では各賞の発表に会場内のあちこちから歓声が上がリ、盛り上がっていました。

各部門のファイナリストの活動、受賞した活動の紹介は、低炭素杯2015のホームページでご覧いただけます。

低炭素杯

検索



受賞した下川町

秋田県からの 受賞者

2014	最優秀ソーシャルイノベーション賞 秋田県立秋田工業高等学校メカクラブ同好会レーシング班 エコレース活動にチャレンジして ～エコ技術は次世代へのO・MO・TE・NA・SHI～
2013	最優秀コミュニケーション賞 和賀製畳店 稲わらを循環資源として活用した「エコたたみ」
2012	環境大臣賞 金賞（地域活動部門）NPO法人 あきた菜の花ネットワーク 菜の花で秋田を元気にしよう！（菜の花から始まる循環型社会）
2011	審査委員特別賞 ENEX株式会社 地下水熱ヒートポンプを利用した菌床しいたけ栽培

4月19日は「あきたビューティフルサンデー」です!

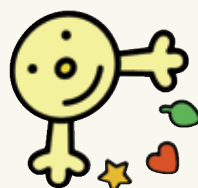
4月は「あきたクリーン強調月間」

美しい環境を守るためには、ごみを減らすこと、ポイ捨てをしないことが第一ですが、例年、雪解け後の時期にはごみが色々なところで見受けられるようになります。

このため、県では、毎年4月を「あきたクリーン強調月間」、4月第2日曜日を「あきたビューティフルサンデー」として、県民の皆さんに身近な地域のクリーンアップを呼びかけておりますが、今年は第2日曜日が秋田県議会議員選挙の投票日であるため、第3日曜日である4月19日を中心として、春の一斉クリーンアップが県内各地で行われる予定です。

一人一人の活動は小さいものかもしれませんが、より多くの皆さんの参加が秋田をきれいにする大きな力になります。身近な地域で行われるクリーンアップ活動に是非、ご参加下さい。

秋田県生活環境部環境整備課 (TEL018-860-1622)
<http://www.pref.akita.lg.jp/haikibut/>



環境美化マスコット
(クリンちゃん)



竿燈大通りのクリーンアップ



八郎湖周辺のクリーンアップ

環境フィズこたえ

環境クイズ①

2と4が
正解です。

Reduce (リデュース) は、使用済みになったものが、なるべくごみとして廃棄されることが少なくなるようにものを作る。Reuse (リユース) は、使用済みになっても、その中でもう一度使えるものはごみとして廃棄しないで再使用する。Recycle (リサイクル) は、再使用ができずにまたは再使用された後に廃棄されたものでも、再生資源として再生利用すること。が3Rです。選択肢の中に Refuse (リフューズ) と Repair (リペア) が入っていましたが、この二つを加えると5Rとなります。Refuse (リフューズ) は、不要なものはもらわない。そして Repair (リペア) は、修理して使うです。

環境クイズ②

正解は1

質の良い再生品を作るために、ペットボトルの中でも分別収集するものが決められています。資源有効利用促進法に基づく政令指定により、指定表示品目として選択肢1の表示が義務付けられています。

選択肢2は特定容器包装のうちプラスチックの識別マークとして、指定ペットボトル以外のペットボトルとその他のプラスチック製ボトルに表示されます。

選択肢3は、リサイクル推奨マークで、日本国内でペットボトルを再商品化したフレークやペレットなどを25%以上原料として使用した製品に表示されます。

選択肢4は、特定容器包装のうち紙の識別マークとして、紙製容器包装に表示されています。

環境クイズ③

正解は3

汚れは、長い間放置しこびりついてしまうと、多くの洗剤が必要となることがあります。一方、こまめに掃除をすれば、洗剤をつかわずに済むことも多く、重曹や酢などの環境負荷の小さいものを利用することもできます。できるだけ洗剤の使用量を控える工夫をしましょう。

発行

秋田県生活環境部環境管理課

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号
 TEL 018-860-1571 FAX 018-860-3881
 E-mail kankan@pref.akita.lg.jp

編集

NPO法人 環境あきた県民フォーラム

秋田県地球温暖化防止活動推進センター (ACCCA)

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎 (秋田県ゆとり生活創造センター) 内
 TEL・FAX 018-839-8309 E-mail mail@eco-akita.org
 ホームページ www.eco-akita.org/onsen

